プロトコール名 胃癌 nab-PTX+ハーセプチン療法

適応 HER2過剰発現が確認された治癒切除不能な進行・再発の胃癌

投与期間 1週ごとに3回投与し、4週を1コースとする。

条件 一次治療でハーセプチンを使用しておらず、二次治療でパクリタキセルが 使用できない症例に限る

投与計画

| 薬剤名 | 基準量 | HER2検査結果 | 年 | 月 | 日 |
|--------|----------------------|----------------|---|--------|------------|
| ハーセプチン | 初回 8 mg/kg | IHC3+ | | | |
| ハーセノナン | 以降 6 mg/kg | IHC2+ かつ FISH+ | - | ├─ いず∤ | こかであることを確認 |
| アブラキサン | 100 mg/m^2 | FISH+ | _ | | |

Day 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28

アブラキサン 100mg/m2 ↓ ↓ ↓ ↓ ↓ .ハーセブチン 6mg/kg ↓

(day1)

①生食100ml(ルートフラッシュ用)

(初回8mg/kg)

②生食250ml+ハーセプチン 6mg/kg(初回8mg/kg)(*初回90min、2回目以降30minに短縮可)

投与前後、生食にてルートフラッシュ

- ③グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)
- ④生食50ml+アブラキサン 100mg/m² (30min) 投与前、生食にてルートフラッシュ
- ⑤生食50ml (5min)

| 生食100ml | ハーセプチン 生食250ml | グラニセトロン オルガドロン | アブラキサン 生食50ml | 生食50ml |
|---------|-------------------|-------------------|------------------|--------|
| | * | 30分 | 30分 | 5分 |

(day8, 15)

- ①生食100ml(ラインキープ、ルートフラッシュ用)
- ②グラニセトロン1B+オルガドロン4A (30min)
- ③生食50ml+アブラキサン 100mg/m2 (30min) 投与前、生食にてルートフラッシュ
- ④生食50ml (5min)

| 生食100ml | グラニセトロン | アブラキサン | 生食50ml |
|---------|---------|--------|--------|
| | オルガドロン | 生食50ml | |
| | 30分 | 30分 | 5分 |

アブラキサン投与時はインラインフィルターを通さないこと

アブラキサンは特定生物由来製品であるため使用記録を20年間保管すること

投与前に心エコー検査を実施し、LVEFの測定をおこなうこと。 投与中も定期的に心機能の確認をすること。

※このレジメンに関して、ハーセプチンの投与量は初回は8mg/kg、2回目以降は6mg/kgで投与間隔での再ローディングはおこなわない

●休薬·減量基準

・次表の基準を参考に、減量・休薬をおこなうこと

| 好中球数 | 1000/mm ³ 以上で実施可能 |
|---------|-------------------------------|
| 血小板数 | 7. 5万/mm ³ 以上で実施可能 |
| AST·ALT | 2. 5×ULN以下で実施可能 |
| | (肝転移症例では5×ULNまで可) |